

地域の命を守る、 私たちの防災力をつくる

文化部主催
7月4日(土)

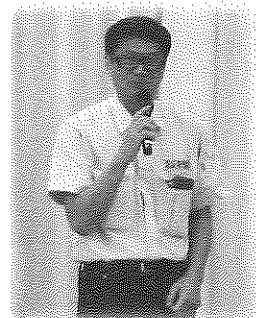
32名が参加し、文化講座「図上防災訓練と防災講座」が開催されました。

地域を知ることから、公民館を中心とした地図に自宅から避難所までのルートに印を付け、危険な場所、公衆電話、病院、薬局、コンビニなど手がかりを見つけました。

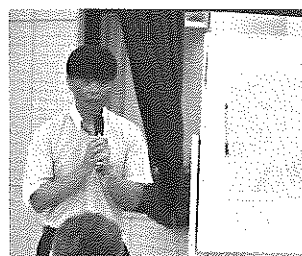
次に避難所が地震は大丈夫だが、風水害では川の流れ、窪地などを調べておくために、日々の散歩などで状況を把握しておく必要を語っていました。自分の行動が生存率を左右することもクイズ形式で確認していきました。

相模原市では、黄色いバンダナが作られていて、四隅に表示されている要支援、身体に障害、視覚、聴覚などケアの必要な部分を背中に合わせて使用するので(下段の写真参照)、一目で支援の手が届き、わかりやすいものでした。消防士の齊藤さんより、避難袋にぜひ、口腔ケアのため歯ブラシを一本用意するとよいと、お勧めがありました。

顔の見える地域が、災害にも一番強いということでした。



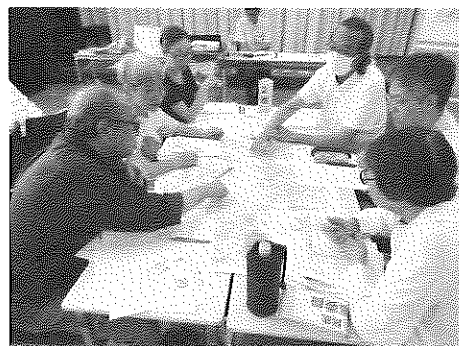
講師の阿部善博さん



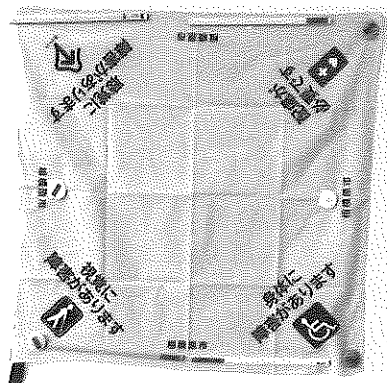
班ごとに話し合ったことを
発表しました

<講師コメント(阿部善博さん)>

地域活動は災害への備えにもなります。日々の生活で、今災害が起きたら、とイメージをふくらませてみんなで取り組みましょう。



みんな真剣に話し合っています



黄色いバンダナ



南保健福祉センター3階の「南高齢・障害者相談課」で配布しています。
(市内在住で災害時に支援や配慮が必要な人が対象)
詳しくは、下記の相模原市ホームページをご覧ください。

■ヘルプマーク・ヘルプカード・
災害時障害者等支援バンダナについて
(相模原市)

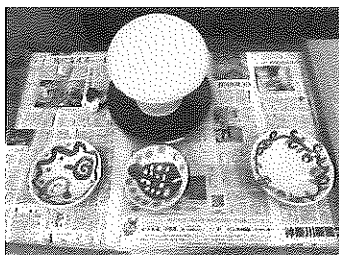
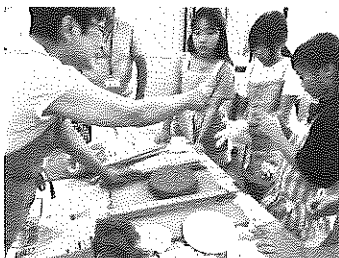




わんぱくチャレンジ②「陶芸にチャレンジ」



7月12日(日)



小学4～6年生を対象とした“わんぱくチャレンジ②「陶芸にチャレンジ」”が開催されました。

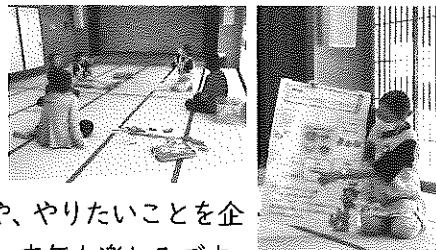
講師に赤瀬圭子さん、アシスタントに林田奈月さんを迎え、子どもたちは世界に一つだけの器づくりに挑戦しました。今回は、サラダボウルやスープ皿などに使える器を制作。粘土を伸ばして形を整えた後、白や赤の粘土を組み合わせ、ネコやイヌ、ハート、スマイルマークなど思い思いの模様を表現しました。筆を使わず、色の異なる粘土だけで絵柄を描くため、一人ひとりの個性あふれる作品が完成しました。最後は型にはめて器の形に仕上げ、底にサインを刻んで「裏印」の完成。子どもたちは真剣な表情で制作に取り組み、でき上がった作品を前に満足そうな笑顔を見せていました。作品は焼き上げられ、8月には世界に一つだけの「マイボウル」が子どもたちの手元に届きました。

キッズ愛 Love「管理栄養士による幼児食講座」 幼児の食事バランス、おやつの選び方について学ぼう

8月25日(火)

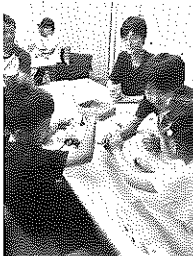
南子育て支援センターの小林麻紀さんを講師に迎え、0歳から3歳のキッズとお母さん4組が参加しました。月齢だけでなく体の発達をみて離乳食を進めること、食事の量や味付けのことなど、とても参考になることでした。

去年に引き続き参加した人から実行委員が出て、自分たちが知りたいことや、やりたいことを企画しているそうです。今年の参加者から来年の実行委員が出るのでしょうか。来年も楽しみです。



パパと一緒に、ときどきママも 夏休み理科実験「磁石と電気」

8月1日(土)



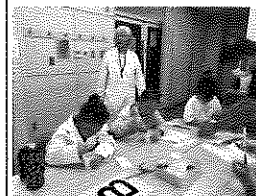
講師に前谷口児童館長の金田宏仁さん、アシスタントに横浜薬科大学の松本ますみさん、市川裕樹さんを迎え、前半は「磁石と電気」、後半は「おたのしみ実験」の2部構成で行われました。

棒磁石やコンパス、そして地球も磁石であることを学びました。「北極がS極で南極がN極です。」って言われてみれば納得ですが、ちょっと油断してました。ガウス加速器の実験では、複数並べた鉄球の一端に磁石を置き、そこに鉄球をゆっくり当てると反対側から勢いよく鉄球が飛び出す様子に子どもたちだけでなく大人たちも大歓声でした。

後半は白衣を着こんでかわいい研究者となった子どもたちが、「スライム作り」と「スーパーボール作り」に挑戦しました。最初はなかなかうまくできないこともありましたが、諦めずに最後には大きなスーパーボールを作ることができました。2時間はあっという間に過ぎ、一生懸命作ったスライムとスーパーボールを大事に抱えての解散となりました。

<講師からのコメント>

予定していた実験が最後までできず、とても残念でした。ラテックスというゴムの木の樹液を集めたものの中にお酢やレモン汁を入れると天然ゴムがすぐできるので、それを見てもらおうと思っておりました。いつか皆さんに機会があればお見せしたいと思います。また、「YouTube」等で見ることもできると思いますのでぜひ検索してみてください。



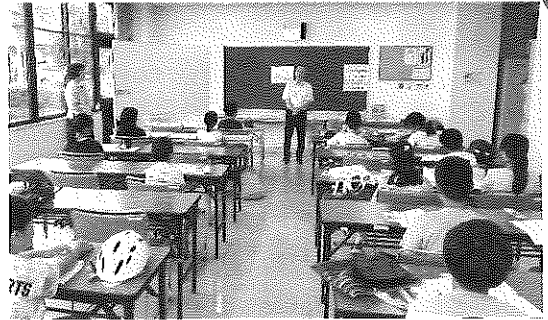
春の花植え



スギナは抜けない
たっぶり水を上げて



「ひまわり塾」レポート



夏休み期間中、公民館では、空き部屋を利用して「夏休み学習室開放」を実施しています。

この日は、子どもたちの質問に応じて、元教員の方々が教えてくださる「ひまわり塾」。集まった子どもたちは、学校の宿題や、自分で選んだドリルなど、それぞれの課題に取り組み、分からない所を質問して解決できるので、一段と勉強がはかどります。

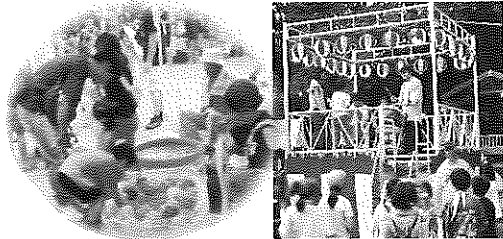
学習室開放は、朝夕時から1時半まででしたら、入退室は自由です。「午前中はここでしっかり勉強して、午後は友達といっぱい遊ぶんだ」と楽しそうに話してくれる子もいて、メリハリのある夏休みを過ごしているようです。涼しく、大人の見守りがある公民館なら、保護者の皆さんも安心だと思いました。

6月6日(土)午前中に上鶴間公民館で花壇の春の花植えを行いました。公民館に登録している団体・サークルの皆さんやそのご家族、30名以上の参加者と公民館の職員も加わり、花植えと雑草抜きの担当に分かれて作業開始。花植えは事前に公民館で土の入替と苗の用意が済んでおり、すぐにレイアウトからスタート。マリーゴールドやペチュニア等、色とりどりの初夏の花苗を相談しながら配置していきます。一方、花壇の周りにのさばっているスギナやドクダミの処理に悪戦苦闘しているのが雑草抜き担当。頑固な根が横に伸びているので抜きにくい虫が飛び出してきた悲鳴が聞こえてきたり…。しかし取材している側から見ると、それはそれで楽しそうに見えました。1時間ほどで公民館の庭がすっかりきれいになり、用意された冷たいお茶を飲みながら皆さん達成感を味わったのではないのでしょうか。

今度は秋、またよろしく願います。

中和田自治会

納涼まつり開催



7月26日(日)長嶋神社境内にて「納涼まつり」が開催されました。

午後2時開会から、自治会・子ども会直営の焼きそば・綿あめ店、ヨーヨー釣り等に子どもたちが集まりました。舞台では、キッズや女性グループがダンスを披露。続くのど自慢では、観客の手拍子も加わり盛り上がり上がってきました。そしてヤグラの太鼓が叩かれ、いよいよ盆踊りの始まり。一曲目は「よさこいソーラン」。小学生、中学生が元気に踊りました。ところが、一曲目が終わった時点で豪雨来襲。盆踊りはあえなく中止。しばらくの雨宿りの後、抽選会を行って「納涼まつり」は閉会しました。

盆踊りは少しだけでしたが、集まった方々には、お店や舞台で、暑い午後の「納涼」を楽しんでいただけたと思います。

まちの話題

94



パークスクエア相模大野自治会

第1回「マンスリー交流サロン」を開催

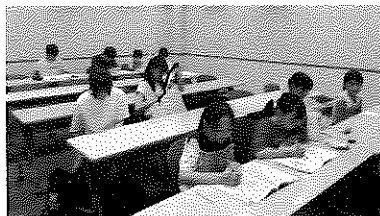
パークスクエア相模大野自治会では、住民同士の温かな交流を目的に連続企画「マンスリー交流サロン」を開始しました。

その第1弾として8月24日(月)に「夏休み集中!小中高生向け自習室」を開催。小中学生や大人、計14名が参加し、宿題やテスト勉強、読書に真剣に取り組みました。終盤には「今日やったことの共有会」を開き、成果を発表し合って世代を超えた交流を深めました。会場となったマルチルームは、日頃からサークル活動や住民の憩いの場として親しまれています。

今後の「マンスリー交流サロン」も以下の通り魅力的な企画を予定しています。

第2回(9月24日):「思い出の一冊」と昭和懐かしトークサロン
思い出の詰まった本を持ち寄り、昭和のエピソードを語り合いながら親睦を深めます。

第3回(10月24日):包丁いらず!「うなぎの蒲焼もどき」クッキング
包丁を使わず身近な食材で調理し、試食を楽しみながら料理を通じた交流を行います。



館長のつぶやき：出会いのすばらしさ、つないで つながって 種を撒いて
来年 創立40周年をむかえます。

